



# 鴨池中だより

鴨の中の一つの鴨を見てゐたり

校自律 性同調

## 学校評価のまとめ (二学期末にいただいたアンケートから)

二学期までの教育活動の評価を分析したものを掲載します。今回は、一学期と比較して評価が伸びた項目(○)と低いまたは下がった項目(●)の一部を取り上げます。

A 生徒集計結果 「よい」の%	1学期	2学期
○進路指導	16.4	37.3
○ICT機器の活用	15.7	31.0
●いじめのない学校生活	79.1	70.5
●自分は大切にされている	56.0	48.1
B 職員集計結果	1学期	2学期
○ICT機器の活用	4.5	22.2
○不登校傾向生徒へのサポート	4.5	22.2
●地域人材の積極的な活用	50.0	22.2
●生徒との信頼関係の構築	45.5	16.7
C 保護者集計結果	1学期	2学期
○意欲を持って学校行事に取り組んでいる	29.1	38.2
○運動時間の適切な確保	18.6	27.0
●学校は、学校の目標や方針を分かりやすく伝えている	21.4	14.6
●進路情報の提供	31.8	27.0

### A 生徒集計結果からの考察

二、三年生において職場体験学習を実施し、働くことの意義や大切さを学んだ。ICT機器の活用については、一学期に比べ、環境が整ったことが大きい。一方、友人関係や自尊心の醸成に課題が見られるので、人間関係作りや家庭と連携して励ましの言葉掛けを増やす必要がある。

### B 職員集計結果からの考察

ICT機器の活用については、一学期に比べ、向上しているが、以前低い傾向があるので、授業において効果的な場面での活用をさらにすすめていく必要がある。また、学校を休みがちな生徒へ寄り添い、関係構築と連携しながらサポートを続けている。

一方、一学期に比べ、地域人材の活用、生徒との信頼関係の構築に課題が見られるので、学校運営協議会と連携し、地域人材の活用を図っていききたい。また、

生徒からの相談等に適切に対応するため、校時表の見直しを検討し、相談時間の確保に努めていく。

### C 保護者集計結果からの考察

今年度から、コロナが第五類に引き下げられたことにより、学校行事も以前のように保護者参加ができるようになった。一方で、多くの行事を観ていただく機会が増えた。が、他学年には定期的な配布していないので、今後は配布し、進路情報の提供に努めていきたい。また、学校の目標や方針はPTA総会や学校便り等で周知していきたい。

### 保護者学校評価 自由記述より(一部抜粋)

- ・最終学年、思春期真っ盛り、親の声には反応示さない息子にも、寄り添ってもらい担任の先生には感謝しかない毎日です。ありがとうございます。
- ・先生たちの負担も減るような、地域に開かれた学校になればと思います。子どもは親や学校だけでなく、地域で育てる、がもつとすすめるべきだと思います。
- ・△の評価  
・タブレット端末の活用。

改善策として、授業において積極的に活用していくようにする。そのための職員研修も実施していきたい。また「まなびポケット」の学習ドリルソフト「ナビマ」も授業の終末部分での活用や宿題等で活用していきたい。

理解が不十分な生徒への何かしらの対策をしてほしい。改善策として「まなびポケット」の学習ドリルの活用や個別対応の指導に努めていきます。

普段からどういう風に指導しているか保護者には分かりにくい。改善策として「まなびポケット」の連絡機能を活用し、学校便りや学級通信などを随時配布できるようにしていきたい。

## 令和五年度入学説明会



一月二十六日(金)に令和五年度入学説明会を行いました。当日は、鴨池小、中郡小、その他の小学校から百五十人以上の入学予定の児童の皆さんが保護者の方々と一緒に来校しました。会場では、生徒会長と一年生代表の歓迎の言葉に始まり、生徒会による学校紹介等、事前の会場準備から本番まで、素晴らしい鴨中生の姿を見せてくれました。それに応えるように小学生の皆さんも真剣に先輩たちの話を聴く姿が印象的でした。

## 表彰関係

- ☆ 鹿嶋市市政事業(市長への提言) かごりんゼロカーボンアイデア賞
- ☆ 鴨池中学校3年 よかどかごりんさがらーず第57回県中学校音楽コンクール「春の祭典」学級合唱2年生の部 銅賞 2年1組
- ☆ 第29回川畑杯ソフトテニス大会 1年女子の部 第3位 鴨池中学校A
- ☆ 令和6年鴨池公民館新春書き初め大会 金賞 1年生 銀賞 2年生
- ☆ 第11回JBAソロ・アンサンブルコンテスト 金賞 金賞 金賞 銀賞 銀賞

日	曜	2月(如月・February)の行事予定
2	金	公立高推薦入試
5	月	1-1 あいさつ運動 教育相談(チャンス相談~8)
6	火	県SC来校
7	水	1-2 あいさつ運動 テスト前部活動停止~15
8	木	1-3 あいさつ運動 第2回学校保健委員会
9	金	1-4 あいさつ運動 PTA三役会・評議員会 第3回漢字検定
11	日	(祝) 建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	1・2年授業参観 1~3年学年・学級PTA
14	水	学年末試験~16 市SC来校 家庭教育学級閉講式
21	水	生徒会専門部長会 市SC来校
23	金	(祝) 天皇誕生日
28	水	第4回学校運営協議会

## 校長室より

新しい年が始まりました。令和六年の干支は、甲辰(きのえたつ)です。甲辰の甲とは「甲乙丙丁」の一番最初の文字で物事の「始まり」を象徴しています。そして辰は草木が成長し勢いを増す様を表していると言われています。この二つが合わさる甲辰は、新しいことを始めて成功する。いままで準備してきたことが形になるといった縁起のよい年になるといわれています。一念発起して何か新しい事にチャレンジすることもいいかもしれません。

さて、私の好きな言葉に「耐雪梅花麗」(雪に耐えて梅花へばいか麗へうるわし)があります。これは、西郷隆盛が明治五年に甥の市来政直に対して詠んで送った漢詩の一節と言われています。「梅の花は、冬の雪や厳しい寒さを耐え忍ぶからこそ、初春に美しい花を咲かせ、かぐわしい香りを発する。」という意味で、人間は苦しいことや辛いことを耐えた先に大きく成長することをたとえています。

梅がきれいな花を咲かせるために雪に耐えて懸命に準備をする期間は、学校生活の三学期にあたると思います。一年間で最も短い三学期ですが、それぞれの学年・学級の「まともである」と同時に、「進学・進級」を控えた準備のための大切な期間です。この一年間の心身の成長を自覚し、次のステップとなるような学校生活をしてほしいと思います。保護者の皆様、残りわずかな令和五年度となりましたが、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

